



小中一貫校 南アルプス市立白根巨摩中学校

# 伝統からの創造

～思いやりの心と主体性・創造性を備えた巨摩中学生の育成～

第 1 号

令和6年4月30日(月)

すべてのものが清らかで生き生きとする二十四節気という「清明(清浄明潔)の季節になりました。そして、白根巨摩中学校では桜が満開に咲き誇る中…

## 全校生徒259名で新たなスタート!

4月4日に新任式・始業式を、5日には入学式を行い、小中一貫校白根巨摩中学校の令和6年度がスタートしました。70名の新入生を迎え、全校生徒 259 名の船出となりました。新任式では、生徒会長の歓迎の言葉を聞き、温かな気持ちになると同時に、身の引き締まる思いでいっぱいになりました。始業式では、2年生代表は「個としてチームとしてもうひと段階成長したい。そのためには、1年生への接し方等工夫し、尊敬される先輩になりたい。」、3年生代表は「受験に向け、忙しくても勉強を欠かさない覚悟、最高学年としての覚悟をもって、認められる集団になりたい。」、そして生徒会代表は「生徒会は学校を発展させるための機関。4つのこだわりを徹底し、レベルを上げていきたい。行事は団体戦。一人一人の自覚と協力が大事。やる気に満ち溢れるような学校をつくっていきたい。」と、落ち着いて新年度の決意を述べました。フロアで話を聞く生徒の姿勢もとても素晴らしく、新年度の決意を皆でしっかり確認しあうことができました。

翌日の入学式では、2・3年生が心をこめて用意した会場へ新入生が初々しく入場。開式を前に、ステージに立ち、決意表明を行いました。静まりかえり緊張感が漂う広い体育館で、一人一人しっかり自分の思いを発表することができ、立派でした。こうした経験を積み重ねていく過程を通して、真の意味で中学生になっていくのだと感じました。また、校長先生は新入生誓いの言葉を聞き、「すごいわ新入生！きちんと目を合わせながら述べていて素晴らしかった。」と感激していました。全校生徒で良いスタートがきれました。初心を忘れず、一日一日丁寧に積み重ねていきましょう。



1年1組



1年2組

## 地域の方々に支えられ 地域と共にある学校

4月17日、校舎に校名の看板が設置され、風格がさらに増しました。費用は、地域の方々から納めて頂きました「\*体育・教育後援会費」から支出。「地域の子どもは地域で育てていこう。」という地域の方々の熱い思いに支えられている白根巨摩中学校なのだと実感します。こうした地域の方々の思いを生徒たちにも伝えながら、全ての子どもたちの豊かな学びや成長につながるよう我々教職員も尽力してまいります。



\*「体育・教育後援会」とは…昭和38年より「体育・教育後援会会則」が施行され、校区の世帯より300円ずつ収めて頂き、部活動の参加費用や用具の購入、環境整備等の教育振興費として支出しています。地区役員は保護者の皆様の中から選出していますが、保護者がいない地区は自治会長様をお願いをしています。